

特別企画

JCI セッション JCI 認証による医療の質の向上



足利赤十字病院 副院長兼第一整形外科部長

うらべ ただひさ
浦部 忠久

当院は、2015年02月07日付けでJCI認証を取得した。JCIとは正式名称をJoint Commission Internationalと言ひ、米国を本拠地とする、医療施設の国際的な第三者評価機関である。

医療の国際化が進む中、そして2020年には東京オリンピックが開催されることで、増々日本の病院の医療の質が問われることとなる。そうした背景から、JCI受審病院は徐々に増え続けている。2016年8月時点、国内におけるJCI認証取得病院は13施設であり、当院は9番目となる。

JCI受審の最大の目的は、医療と看護の質の向上や患者安全を推進することであった。2011年7月に全面移転を終え、ハード面が整った次のステップとしてJCI受審を選択し、ソフト面の充足に着手した。加えて、職員のモチベーション向上も受審目的の要素である。院内でキックオフを行ったのは2013年の秋であったが、その頃、JCI認証を既に取得していた病院は、亀田メディカルセンターや聖路加国際病院といった全国的にも有名な病院が数カ所であった。JCI受審にチャレンジすることは、当院の理念を体現化したものと言える。

JCI受審に向けての活動は、2014年4月より本格化した。審査項目は全14領域、1,146項目に及び、審査方法はトレース形式とインタビュー形式に分かれる。審査対象は委託業者を含む全職員であり、場合によっては患者やその家族等も対象となる。そういった広域に亘る内容の1つ1つに対し、どのように取り組んできたか、また、実際の審査をとおして見えてきたもの、感じたことを本講演で紹介する。

当院にとってJCI受審の経験は、病院を支える全てのスタッフの努力と団結により現実化したことで、真の多職種連携の意味することが分かり、患者安全と医療の質の向上の重要性を再認識することができた、価値のあるものであった。是非、多くの赤十字病院が受審することを願う。